

IoTデバイスの標準通話機能(VoLTE)を活用した 音声接続サービス「SORACOM Air RTC Gateway」を提供開始

通信モジュールのVoLTE機能とSIM認証を活用しつつ
お客さま指定のVoIP・PBX・AIへ柔軟に音声をルーティング

株式会社ソラコム(本社:東京都港区、代表取締役社長 CEO 玉川 憲)は、セルラー通信モジュールが標準搭載する音声通話機能(VoLTE)を活用しながら、デバイス側で追加のソフトウェアスタックを必要とすることなく、お客さま指定のVoIPプロバイダ、PBX(構内交換機)やコールセンターと接続し、音声通話やテキストメッセージのIoTシステムへの統合・活用を可能とするSORACOM Airの新機能「SORACOM Air RTC Gateway」を発表します。



近年、屋外の駐車場の精算機や入退場ゲート、エレベーターの緊急通話ボタン、医療・介護現場での遠隔医療・呼び出し、車両からのサポートサービスなど、現場のIoTデバイスからオペレーターとコミュニケーションする際に、テキストを入力せずに「声で」直接やり取りしたいというニーズが高まっています。さらに、生成AIの進化により、音声による一次受付や異常時の初期対応をAIで実現したいという要望も増えています。しかし、通信事業者提供の音声通話サービスは付与された電話番号による発信はできるものの、発信番号を制限したり、特定の番号からのみ着信を受けたりといったIoTシステムに求められる柔軟な制御には対応が難しいという現実があります。専用のVoIPサービスやPBXを活用することで柔軟なシステム設計が可能となりますが、その場合はセルラー通信モジュールが標準搭載しているVoLTE機能を利用することができず、デバイス側のファームウェアやアプリの開発が必要となり、導入や運用の障壁となっていました。

SORACOM Air RTC Gatewayは、SORACOM IoT SIMを利用するIoTデバイスがVoLTE機能を有している場合、同機能による音声接続をSORACOM側で受け取り、お客さま指定の接続先へ伝送するサービスです。SIMのグループごとに接続先の設定をしつつ、SIM IDごとのVoIP認証情報を割り当てることで、デバイスごとに指定の接続先へ柔軟に接続できます。VoIPサービスに接続してIoT機器からの接続時に周辺音声をサーバに録音するといった使い方や、PBXなどを通じて音声AIやコールセンターと連携することでVoLTE対応のインターフォン等でAIによる一次受付のあと、必要に応じて担当者へ引き継ぐといったシステム構築も可能です。

本サービスは、SORACOM Airによる安全な通信路を通じて確立されたセッションの上で、IMS/VoLTE標準に基づく手順でSIM認証を行います。認証された端末のみ音声の発着信やメッセージングが可能です。当該端末向けに接続先のVoIPサービスやPBXが設定されていれば、VoLTEの認証完了後に指定のエンドポイントに対する登録代行を行います。登録完了した端末からVoLTEによる音声発信があった際、SORACOM Air RTC GatewayはVoLTEの音声発信リクエストを終端し、宛先のVoIPへ音声発信リクエストを転送します。この変換により、端末側ではVoLTE機能を利用しながら、指定のVoIPサービスやPBXを通じた音声通話が可能となります。

お客さま持ち込みのVoIPプロバイダのアカウントを設定すれば、外部と接続でき、そのプロバイダから発行される番号で発着信ができます。また、VPG(Virtual Private Gateway、SORACOM内に設置するお客さま専用ゲートウェイ)による閉域接続を用いれば、企業内のPBXに安全に接続して内線やコールセンターと通話が可能になるほか、企業内の情報へもアクセス可能なAIエージェントと音声接続するといったシステムも構築できます。

SORACOMの通信プロファイルを発行する「eSIM Profile Order」機能を活用し、SORACOM Air RTC Gatewayの設定を適用した通信プロファイルを発行し、eSIM対応のIoT機器やスマートフォンにインストールすれば、持ち込み端末や社用端末に対して閉域接続用プロファイルを提供し、内線通話や社内システムへ安全にアクセスする仕組みも構築できます。たとえば、IT部門が発行したQRコードを社員がスキャンするだけでeSIMがアクティベートされ、VoLTE機能で内線通話や社内のAIエージェントに音声接続できるようになります。

本サービスのユースケースとしては、建設・農業・産業用の機械の遠隔サポート、エレベーターや警備システムの異常通報・緊急通話、医療・介護機器からの呼び出しや音声アシスト、コネクテッドカーからのサポートセンター接続といった現場のIoTデバイスにおける音声利用を想定しています。加えて、音声AIエージェントを活用した自動応答や、eSIMを活用した社用端末の内線化・社内システムへの安全なアクセスなど、多様な用途での活用が見込まれます。

SORACOMは、ヒトとモノ、そしてAIに対して音声通話も提供するプラットフォームへと進化します。AI/IoTの活用をより身近なものとし、さまざまな現場の多様な機器と人、AIをシームレスにつなぐことで、社会やビジネスのイノベーションに貢献していきます。

SORACOM Air RTC Gateway の概要

- 提供開始日
 - 2026年7月7日
- サービス概要
 - IoTデバイスの標準通話機能(VoLTE)による音声进行SORACOMで受け取り、SIM情報に基づいて指定のVoIPサービスやPBXへルーティングする機能
- 主な特徴:
 - デバイス側に特別なソフトウェアが不要(IMS/VoLTE対応モジュールの標準機能を利用)
 - SIM認証で担保された安全性(追加のクレデンシャル管理が不要)
 - 任意のVoIPプロバイダ/IP PBXへ接続(外線発着信、内線、IVR、AIエージェント等)
 - プログラマブルな設定管理(SIMごとの接続先指定、API/コンソールで設定変更)
- 利用には事前申請が必要です。ご利用を希望の方は、以下からお問い合わせください。
 - <https://soracom.jp/contact/>

ソラコムについて

AI/IoTプラットフォームSORACOMは、世界200以上の国と地域でつながるIoT通信を軸に、IoTを活用するために必要となるアプリケーションやデバイスなどをワンストップで提供しています。製造、エネルギー、決済などの産業DXから、イノベティブなスタートアップ、農業や防災など持続可能な地域社会を支える取り組みに至るまで、さまざまな業界・規模のお客さまにご活用いただいています。

ソラコムコーポレートサイト <https://soracom.com>

ソラコムのIRサイトでは、決算情報・IR資料など、株主・投資家様向け情報を掲載しています。

IRサイト <https://soracom.com/ja/ir>

シェアードリサーチレポート: <https://sharedresearch.jp/ja/companies/147A>

ソラコムIR公式note: https://note.com/soracom_ir

IRニュースレター登録: <https://soracom.com/ja/ir/newsletter>

本ニュースに関するお問い合わせ

株式会社ソラコム 広報

担当: 田淵

pr@soracom.jp